

湯島小学校 3年 図画工作 立体題材「お面作り」

授業のねらい

- 沖縄のシーサーや鬼瓦などの厄除け、世界各地のお面の鑑賞を通して、自分や大切な人を守ってくれるような物を、紙粘土や枝などの様々な材料を使って作る。

I C T 活用の工夫

- 導入で沖縄のシーサーや鬼瓦などの厄除け、世界各地のお面の画像をタブレット端末に送付し、鑑賞する。拡大・縮小などをしながら鑑賞することで、細かな模様やお面の力強い表情に気付き、作品作りの意欲を高めると共に、制作中の参考にできるようにした。
- 完成後は、お面をかぶった姿を友達にタブレット端末で撮影してもらい、写真に作品の説明や題名も付け加えて、オクリンクで一斉に鑑賞した。（全員一斉配布機能、提出物一斉表示の機能性を生かしたオクリンクの活用）

児童の様子

- 資料を拡大することで、微妙な色の違いや牙や角などの装飾について気づくことができ、作品作りのきっかけをもつことができた。
- 作品作りの途中で資料を確認できるようにしたことで、思い悩む時間がなくスムーズに作品を仕上げることができた。映像の交流をすることによって、次回の学習で挑戦してみたいこと等の具体的な活動のめあてをもつことができた。

成果

- 資料の確認がしやすいため、作品作りに思い悩む児童が減少した。児童作品の鑑賞会はオクリンクにより共有しやすい。

課題

- 複数の児童の作品が資料の作品と同じような模様の色になった。扱う資料を検討する必要がある。